

テニアン島	一五、五七三	一	六
ロタ島	四、三七八	七四〇	三
バカソ島	一八五	三九	六二
ヤツブ本島	九三二	三〇九	三、二四三
バベルダオ島	二、八四二	九四	三、四三三
コロール島	七、九八二	—	一、〇七〇
アラカベサン島	一、三三〇	一一	三三八
マラカル島	二、八一五	—	一八
ペリリユウ島	一、八三一	—	七八七
アンガウル島	一、三一八	一〇八	七五七
春島	一六四	—	二、三六四
夏島	一、五六三	—	一、三三一
秋島	四四四	—	一、二九三
冬島	八四	—	九八〇
月曜島	八	—	四八〇
火曜島	三〇一	—	一九六
水曜島	六六八	—	一、七六一
金曜島	一三	—	四三九
ポナベ島	四、八七五	八九	五、六八三
クサイ島	一九三	二	一、三五三
ヤルト島	四五九	—	一、三二〇

大阪府下工場勞務者の疾病狀態調査

大阪府工場課の調査になる大阪府下工場勞務者の疾病狀態調査の結果は左の如く、事變の進展に伴ひ憂慮すべき漸増の傾向を示してゐる。(職工五十人以上使用の工場に對する調査。)

肺結核及結核性病患病率

(三月以上休業したる者千人に對し)

染織工業	男 二・一	女 一・一
機械及器具工業	男 二・七	女 一・四
化學工業	男 二・〇	女 一・九
飲食物工業	男 二・一	女 —
雜工業	男 三・八	女 〇・九
特別工業	男 九・四	女 —
脚氣病臥率	(三月以上休業したる者千人に對し)	
染織工業	男 二・九	女 二・七
機械及器具工業	男 六・九	女 四・九
化學工業	男 三・五	女 四・六
飲食物工業	男 —	女 四・一
雜工業	男 一・七	女 四・九
特別工業	男 三・八	女 —

尙、從來女子勞務者に於て結核性疾患がつきもの様に考へられてゐた紡織工業は、本調査の示す所によると化學工業、機械及器具工業に較べて寧ろ低率にあることが示され、また脚氣病臥率は男女を通じて機械及器具工業が最高であることが注目される。

**財團法人人口問題研究會紀元二千六百
年記念第四回人口問題全國協議會計畫
概要の發表**

財團法人人口問題研究會に於ては豫ねて來る十一月紀元二千六百年記念第四回人口問題全國協議會開催の準備を進めてゐるが、此の程左の如き計畫概要を決定して發表した。

**紀元二千六百年記念第四回人口問題
全國協議會計畫概要**

一 趣 旨 光輝ある紀元二千六百年鑒國の理想を顯現し大東亞新秩序建設の現段階に當り國防國家の根基たる人口に關する諸問題の解決は蓋し喫緊の要務と謂ふべし

茲に紀元二千六百年記念第四回人口問題全國協議會を開催し廣く衆智を聚め討議研鑽を竭し以て國策の根幹に資せん

二 場 所 東京市神田區一ツ橋通一丁目一番地一橋講堂及如水會館

三 日 時 昭和十五年十一月十四日(木) 十五日(金)

四 研究報告 左の如く五部門に分ち二日間に互りて研究報告會を開催す

- 第一部 人口問題に關する一般的研究
人口統計に關する一般的研究、人口理論に關する一般的研究、人口政策に關する一般的研究、人口一特に我が國人口の歴史的並に地理的研究、戰爭の人口現象に及ぼす影響に關する研究、世界各國に於ける戰時及戰後及人口對策に關する研究、民族政策に關する基本的研究、其の他民族及人種に關する一般的的研究等
- 第二部 東亞諸民族に關する研究
諸外國並に外地に於ける日本民族の人口狀態及其の活動に關する研究——特に滿支及南洋に於ける日

本民族に關する研究、日本民族の發展策—特に其の移住適性に關する研究、日本民族の内外地間人口移動に關する研究、日本民族と大陸並に外地諸民族との接觸混血に關する研究、大陸並に外地諸民族及人種に關する研究、南方諸民族及人種に關する研究、我が國移殖民政政策に關する研究、滿洲移民に關する研究等

第三部 人口問題より見たる國土計畫に關する研究

世界各國の國土計畫に關する研究、都鄙の適正なる人口配分に關する研究、人口の都鄙交流に關する研究、分村に關する研究、都市及農村人口に關する研究、工業並に商業に於ける勞働力需給に關する研究、工業立地と人口再分布に關する研究、特定産業經營體に於ける勞働力再編成に關する研究等

第四部 人口増加及國民資質向上に關する研究

人口増殖政策に關する研究、婚姻獎勵對策に關する研究、出生増加策に關する研究、死亡減少策—特に乳幼児死亡並に生産年齢人口の死亡に關する研究、母性及乳幼児保護に關する研究、産業の發展に依る勞働強化に伴ふ災害或は勞働青少年及婦人の體力に及ぼす影響並に其の保護對策に關する研究、榮養問題に關する研究、結核、癩、性病、精神病、風土病及酒害に關する研究、異常兒童—低格並に精神薄弱兒に關する研究、其の他國民體力及資質向上に關する研究等

第五部 人口問題より見たる國民生活の動向に關する研究

中小商工業の歸趨に關する研究、轉失業—特に不急産業に於ける轉失業人口の再配分に關する研究、

犯罪—特に年少者犯罪に關する研究、軍人遺家族並に傷痍軍人の問題に關する研究、其の他支那事變の國民生活に及ぼしたる影響に關する研究、住宅政策に關する研究、物價對策に關する研究、生活規正に關する研究、生活必需品配給對策に關する研究、各種事業上の購買會に關する研究、國民生活安定に關する政策の研究等

備考 右各部門に於て提示したる研究事項は特に

重要なる問題を例記したるに止まる

五 協議事項 政府諮問事項(未定)

六 參會者懇談會

中央農林協議會の國土計畫基本要綱

中央農林協議會に於ては高度國防國家を建設して民族永遠の繁榮を圖るため東亞共榮圈の確立を目標として日、滿、蒙、支等を通ずる國土計畫に就て研究中であつたが、昭和十五年八月二十六日理事會に於て左の如き「國土計畫基本要綱」の決定を見、右計畫の至大重要性に鑑み之を關係各大臣宛に提出、其の速かなる實現を期せられ度き旨陳情した。その「國土計畫基本要綱」の全文を掲ぐれば次の如くである。

國土計畫基本要綱

一、方針

- (1) 大東亞共榮圈の建設を目標として日、滿、蒙、支等を通ずる國土計畫を確立すること
- (2) 國土計畫は良質の人口を最も多數包容し之が伸展を圖るを以て中核目標とすること
- (3) 右目標を達成するため人口の配分、國土資源の

開發を有機的、統合的に行ひ、且つ國防の強化、産業經濟の發展、文化の向上を圖るものとす。之が實行に當りては相互間の摩擦、相剋を排除して調和的、能率的實現を期すること

二、要綱

- (1) 日、滿、蒙、支等を通じ適當の單位に分つこと
- (2) 國土計畫の中心を日本とし他の單位は之に呼應して計畫を樹立實行すること
- (3) 國土計畫の樹立、實行に關し、日、滿、蒙、支等を通ずる中樞機關及び單位別中央機關を設置すること
- (4) 右中樞機關に調査、研究機關を設くること
- (5) 國土計畫の樹立、實行に適合するやう行政區劃を編成替すること
- (6) 國土計畫の實行に必要な資金並に物資計畫を樹立すると共に金融機關を整備改善すること
- (7) 立地計畫の樹立に當りては國土の開發、改良、保全並に人口の健全なる配置を根幹とすること

獨逸統計局の世界人口集計

獨逸統計局では各國最近の調査資料を基として一九三八年現在の世界人口の集計を行ひ、その結果を *Wirtschaft u. Statistik 1940 Nr. 10* に發表してゐるが、南極を除く世界人口の總計は約二十一億六千九百萬と